

科目名		環境と社会 (Environment and Society)							
学年	専攻	単位数	必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年	生産システム工学専攻 物質工学専攻 経営情報工学専攻	2 単位	必修	講義	後期 100 分/週	90 時間			
担当教員		【常勤】山下祐志, 高橋正和, 岩元修一							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)安藤昌益の自然観や社会観, 人間観について, 基本的な枠組みが理解できる。そして, これらを参照しながら, 今日の就職問題や結婚問題に関して自分の見解を述べるができる。 (2)環境論から, 日本文明の独自性を理解できる。 (3)環境とエネルギー, コストの関係を理解できる。								
学習・教育目標	(F)③④	JABEE基準1(2)	(a)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	本科の社会科学関連科目								
教科書	使用しない								
補助教材等	参考資料として, 毎回プリントを配布する。								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
		40		60					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】		◎		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】		○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】		○		◎					
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>本講義は, 人間性豊かな技術者を育成するために, 「地球的視点から物事を考える能力を育成すること」を目標として開設されたものである。いわゆる「～学」と呼ばれる学問体系に属するものではなく, 幅広い多様な視点から講義を展開したい。なお, 本講義はⅢ部構成になっており, I 部とⅡ部はレポートによって評価し, Ⅲ部は期末試験を行う。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。安藤昌益に関する基礎的な知識を身に付ける。	
2	安藤昌益の思想	食と性を中心に据えた安藤昌益の「自然真営道」について、その基本的な枠組みが理解できる。	配付資料を事前に読んでおく。
3	安藤昌益の思想	食と性を中心に据えた安藤昌益の「自然真営道」について、その基本的な枠組みが理解できる。	配付資料を事前に読んでおく。
4	中流崩壊論争から就職と結婚の問題を考える	食と性の問題を就職と結婚の問題に置き換えることによって、身近な労働環境を考えることができる。	配付資料を事前に読んでおく。
5	ポスト大衆社会論	今日的な世相の中で、自分の生き方のポリシーを具体的に述べることができる。	レポートを作成する。
6	食から見た環境と文明の問題	植物文明と動物文明のそれぞれの特徴と根本的な違いを理解できる。何ゆえ食が文明と環境のありようを決定する要因となっているかをつかむ。	配付資料を事前に読んでおく。
7	二つの文明史観	梅棹忠夫の文明の生態史観とS. ハンチントンの7大文明圏の基本的考察を参照し、文明の歴史観の基本的主張を理解する。	配付資料を事前に読んでおく。
8	ヨーロッパと日本、およびアジアの比較文明史	日本がアジアに属しながらも、アジアのどの国とも異質で、むしろヨーロッパの歴史と平行進化していることを理解できる。	配付資料を事前に読んでおく。
9	仏教思想の環境文明的異議	現代の環境思想を、仏教のなかの「天台本覚思想」から解釈しなおして、二つの思想を比較評価できる。	配付資料を事前に読んでおく。
10	日本文明論	日本独自の神仏習合思想を軸にして、現代世界に向かって環境問題に貢献できる思想的基盤を構想できる。	レポートを作成する。
11	エネルギーとコスト(1)	現在の日本と世界のエネルギー事情を理解できる。	配付資料を事前に読んでおく。
12	エネルギーとコスト(2)	日本と世界のエネルギー政策に関する比較を理解できる。	配付資料を事前に読み、報告・質疑応答に備える。
13	エネルギーとコスト(3)	日本のエネルギーコストはいくらかについて理解できる。	配付資料を事前に読み、報告・質疑応答に備える。
14	エネルギーとコスト(4)	日本のエネルギーコストの将来を理解できる。	配付資料を事前に読み、報告・質疑応答に備える。
15	答案返却・解答解説。授業改善アンケートの実施。	試験問題の解説を通して、誤解していた点などに気づき従来の理解を改善できる。	
総学習時間数			90 時間
講義			25 時間
自学自習			65 時間